

令和 05 年度				調 査		
葛巻下水処理場 無停電電源装置更新（その2） 工事				設計書		
工 事 番 号				施 工 地		
下水補工第 12 号				見附市 葛巻2丁目 地内		
		実 施 ・ 元		変 更		
設 計 額		円		円		
契 約 額 (内消費税額)		(円)		(円)		
工事・履行日数		工事日数 60 日間 又は 完成期限 年 月 日		日間(付与日数 日間) 完成期限 年 月 日		
実 施 (元) 設計概要	無停電電源装置更新 汎用ミニUPS撤去 N=1台 汎用ミニUPS設置 N=1台			変 更 設計概要		

工 事 仕 様 総 括

(2 頁)

I. 本工事は、下記により施工すること。

- ☐ ①日本下水道事業団「機械設備工事一般仕様書」
- ☒ ②日本下水道事業団「電気設備工事一般仕様書」
- ☐ ③国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」
- ☒ ④国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」
- ☒ ⑤添付の特記仕様書

下水補工第12号 葛巻下水処理場 無停電電源装置更新 工事
特記仕様書

1. 本工事の施工範囲について

本工事は、葛巻下水処理場の電気室内に設置されている無停電電源装置について、汎用ミニUPSの入替を行うものである。

2. 既設品について

現在設置されている汎用ミニUPSに関する情報は、以下のとおりである。

- (1) 種類：汎用ミニUPS + 増設バッテリーモジュール
- (2) 汎用ミニUPS型式：M-UPS050AD2S-UC (B)
- (3) 増設モジュール型式：RRAB050AD1S-U- (B) -30
- (4) 製造年月：平成20年8月
- (5) 製造会社：富士電機システムズ (株)
- (6) 容量：5 kVA
- (7) 寸法：①汎用ミニUPS 高さ675mm、幅350mm、長さ700mm
②増設モジュール 高さ550mm、幅350mm、長さ710mm

3. 既設品の処分について

- (1) 撤去した既設品は、産業廃棄物処分または広域認定制度（請負業者と広域認定業者との契約）による処分とし、産業廃棄物処分の場合は産業廃棄物管理票（マニフェスト）を発行すること。
- (2) 上記によらない処分方法（買い取り、回収、マニフェストを発行しない処分等）は認めない。

4. 新設品について

- (1) 既設品と同規格の汎用ミニUPS及び増設バッテリーモジュールを新設することを想定している。
- (2) 他メーカーの同等品設置については可とするが、設置スペースに限りがあり、機器が設置できない可能性がある。新設品の選定にあたり、設置スペースの設備等の改造が必要となる場合は、受注者の責で実施するものとする。

5. その他

本仕様書に記載されている内容以外の事項が発生した場合は、発注者及び受注者が協議のうえ、対応を定める。

以 上

特 記 仕 様 書

(3 頁)

I. 本工事は、通常の建設工事とは違い、機械設備の部分的な修繕工事です。

II. 通常の維持管理業務の妨げとならないように、工事を行うこと。

III. メーカー指定について

【設計書にメーカー指定のある場合】

他の号機との統一性を保つため、設計書のメーカー品を使用すること。

【設計書にメーカー指定のない場合】

承諾願い図書を提出していただき、既存の設備との関連性の中で、指示致します。

IV. 軽微な変更について

本工事施工中に構造物、機器設備の関係でおこる機器の位置、配管変更など軽微なる変更に伴う工事の変更は、請負金額の増減にかかわらず施工すること。

(別紙、参考資料を参照のこと)

~~V. 機械設備分解後の状況について~~

~~機械設備の分解整備工事の場合、分解後予期しない異常が確認された場合は、別途協議するものとします。~~

VI. 工事の時期について

工事できる時期や既存の設備の停止できる時間等については、打ち合わせの段階で明示いたします。

VII. 完成図書について

後日打ち合わせの段階で、完成図書の仕様・部数を明示いたします。

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJAxxxxxxxx※	TYxxxxxxxx※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合があります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準 [1 県版]	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準 [2 調査関係]	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準 [3 港湾]	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準 [4 下水道]	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準 [1 一般土木] 全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準 [4 公園緑地]	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準 [6 機械・電気通信]	SWExxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準 [5 建設機械損料表]	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900※	S0901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合があります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機-〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。

同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

- ①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。
- ②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。
- ③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。
- ④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。
- ⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。
「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。
詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

#

共通仮設費（準備費積上げ）		式			
撤去品運搬費		式		1	
撤去品処分費		kg		340	
現場管理費		式			
据付間接費		式			
据付（技術者）間接費		式			
据付（機器）間接費		式			
設計技術費		式			
機器費					
工事原価計					
一般管理費等					
一般管理費等計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費					

